

10月

## 地域で協力して防災にあたる

### 「わがまちは、わが手で守る」

これが、地域を守るための最も効果的な方法です。近隣の皆さんと協力して地域を守る備えと行動を「**共助**」と呼びます。

共助がクローズアップされたのは、阪神・淡路大震災でした。

大災害が発生すると、消防などの公的防災機関が十分に対応できなくなることがあります。

そんなときに頼りになるのは、地域ぐるみの協力体制です。

阪神・淡路大震災では、地域住民が自発的に救出・救助活動をして多くの命を救いました。倒壊家屋の下敷きになったりした被災者の生死を分けるのは、災害発生から72時間と言われています。この限られた時間内に、救助隊の到着を待たずに被災者を救うことができるのは、その場に居合わせた私たち自身です。

地域で協力・協働していくことで、被害をできるだけ小さくすることができます。

地域の防災訓練、防災行事にも積極的に参加していきましょう。

